

写像

毛布にくるまった携帯電話機
ちかちかと明滅するサインはまだか

ワニのような口を開くと、そこには
一瞬ごとに書き改められる虚像がある

識別番号を持つ1枚のチップ
ある種の信号に反応する

気になる
さっき振動したのではないか・・・

私はこいつを操っているのか
それとも、こいつに操られているのか

どこへ行くにも連れて歩かねばならない
いつしか私自身の識別番号となった、こいつ

個室を求めてきた我々自身が
個室を破壊するだろう、こいつを生み出した・・・

匿名社会であるネットワークに割り込んできた
いわば、明らかな名を有する「私」の写像

「私」という主張
それを繋ぎとめるために 待ち受けている

ある種の審判が下される可能性がある
電波で結ばれた集団の意思

気になる
さっき振動したのではないか・・・
明滅していなかったか・・・

(2006.11.24)